

ダマスクローズ

バラの品種の一つで、上品で高貴な香りを持つのが特徴。他のバラと比べても香り高く、古代エジプトの女王クレオパトラも愛したという逸話があるほど、長く世界中で愛されてきた原種に近い品種。

@山形薔薇蒸留所(村山市内)



山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業

yamagata yori-i プロジェクト

事業創出第16弾

香りのバラ “**ダマスクローズ**” で新たなチャレンジ

未来のバラの街を目指した **ローズ・ロゼワイン**の開発

yori-i project サブチーフ
小口 貴幸

山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業
yamagata yori-i project
2024年10月15日 11:00～ @ジョージヤマガタ



過去から本質を理解して、
未来のあるべき姿に向かって
創造し行動することで、
最上から日本や世界を良くしていく

1・2年目の実績と3年目の展開

令和4年度（1年目）	令和5年度（2年目）	令和6年度（3年目）
立上げ、組織化、データ分析、 ビジネスアイデアの洗い出し	アイデアのビジネスプラン化 実装の展開	ソーシャルイノベーション プロセス確立と 他地域展開検討
<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別に企業訪問し、ボードメンバーとしての参画を依頼 ■ 3町村でのヒアリング ■ アジェンダの設定 ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度発表した事業のフォロー ■ 各アジェンダにつき5~8のビジネスアイデアを実装に向けて検証 ■ 地元企業への参加依頼 ■ ボードメンバーとのマッチング ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他地域へのプロセス展開 ■ 事業評価に必要なデータ集積 ■ 5つのアジェンダ分科会を平行で運営 ■ ビジネス化の伴走支援 ■ 発表した事業のフォロー
立上げ事業数：3	立上げ事業数：9	立上げ事業の目標値：12~15 （1アジェンダあたり2~3を想定） 他地域への展開

これまでの実績 01

第1弾

(令和4年8月31日記者発表)

一般社団法人 最上イノベーションエクスキュート

アジェンダ：人
解決する課題：教育サービス不足への対応

【参画企業】

株式会社JPD、株式会社ヤマムラ、
学校法人新庄学園

【目的】

1. 中高生のアントレプレナーシップ（起業家精神）の醸成
2. 論理コミュニケーション力を身につける場の提供
3. イノベーションをもたらす新たな価値を創出するための思考・行動要素を持つ人材の育成



第2弾

(令和4年9月30日記者発表)

最上地域 早生桐産業創造プロジェクト

アジェンダ：環境保全、産業
解決する課題：森林資源減少の抑制

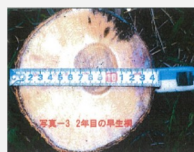
【参画企業】

株式会社佐藤運送、
有限会社グリーンバレー 等

【目的】

杉に比べて成長の早さが10倍、二酸化炭素の吸収量が5倍の早生桐の森林造成を通じ、

1. 荒廃地の再利用等による環境の保全
2. 桐材の商品化等による地域林業の再構築を目指す。



2年目の早生桐
直径14cm



5月植栽の早生桐
人物は身長170cm

第3弾

(令和4年11月14日記者発表)

「大学食堂おいしい山形」プロジェクト

アジェンダ：人、産業
解決する課題：交流人口拡大、所得向上

【参画企業】

一般社団法人スマートニッチ応援団

【目的】

首都圏の学生が最上地域の食材をふんだんに使う「学生食堂」を東京都内に開設し、そこで最上エリアの地域資源をPRすることにより、最上地域の持つ価値の再構築と山形ファンづくりを行う。



これまでの実績 02

第4弾

(令和5年6月20日記者発表)

「共創の拠点」をつくる 「サイヒロコプログラム」

アジェンダ：環境保全
解決する課題：若者流出、DX技術の向上

【参画企業】

一般社団法人SAI
東日本電信電話株式会社
エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ
株式会社

【目的】

世界的な環境アーティストであるサイヒロコ氏からアート思考を学びつつ、氏の作品と親和性の高いデジタル技術を活用してメタバース山形県をつくり、その中で自分がやりたいことに挑戦することを通して、起業・創業のアイデアを見つけ出すことを目指す。



第5弾

(令和5年7月11日記者発表)

合同会社 Circular Thanks

アジェンダ：健康
解決する課題：地元食材を活用した健康増進、「食」を通じた魅力発信

【参画企業】

合同会社 Circular Thanks

【目的】

最上地域の伝承野菜や山菜など、健康機能を持つ素材を活用し、ストレス社会における美容と健康に関する問題解決に挑むとともに、「食」を通して山形県全体の魅力を発信する。



第6弾

(令和5年7月18日記者発表)

株式会社 リンクス

アジェンダ：健康
解決する課題：スポーツを通じた人々の健康増進

【参画企業】

株式会社 リンクス
新庄商工会議所

【目的】

スポーツを通じて住民の体力向上や健康寿命の増進を図る。また、全国でも珍しい「会社が運営する総合型地域スポーツクラブ」を目指す。



これまでの実績 03

第7弾

(令和5年8月8日記者発表)

「金山町・神室の自然に触れるアクティビティ」

“道楽 神室ベース”立ち上げ

アジェンダ：環境保全

解決する課題：自然体験、交流人口創出

【参画企業】

道楽 株式会社

株式会社Be-Ryu

【目的】

町内外の若者をメインターゲットとし、グリーンバレー神室の豊かな自然環境を活用した自然アクティビティを提供。

自然体験を通して、もっと自然に触れ、自然の大切さを学び、地域の環境保全に結びついていくことをめざして事業を展開。



第8弾

(令和5年10月31日記者発表)

移住者と遊休不動産を繋げる

「空き家・移住アソシエーション」

アジェンダ：人

解決する課題：移住者支援・空き家対策

【参画企業】

RoomruBe、県内不動産事業者、地域の起業家

【目的】

空き家が住めなくなる状態になる前に県外からの移住者など必要な人に流通させるエコシステムを構築する。

推進組織を設立することで、情報収集力と発信力を高める。



第9弾

(令和5年11月28日記者発表)

”服“の力で地域に”幸福（well-being）“を一般社団法人 Fuku-Well 設立

アジェンダ：健康

解決する課題：衣服を通じた健康問題の解決とwell-beingの促進

【参画企業】

医療法人慈心会井出眼科病院

新庄商工会議所

【目的】

高齢・障がい・病気などを理由に、衣服の着脱等に不便や難しさを抱える方の自立を支援しつつ、着ることの楽しみや出かけることの後押しによりWell-beingを叶えることを目指す。



これまでの実績 04

第10弾

※ 合同会社 Circular Thanksに続き、
山形大学発スタートアップ2社目

(令和6年1月22日記者発表)

企業を通して地域や社会を学ぶAIプラットフォーム
シエル
株式会社 Ciel 設立

アジェンダ：人、健康
解決する課題：高校生のキャリア形成支援
就職後のミスマッチ解消

【参画企業】

株式会社Ciel[R6.1月設立]

【目的】

高校生のキャリア形成に寄与することを
目的とした、最新の生成系AI技術による企業
情報の提供

高校生が離職する大きな理由の一つである「ミスマッチによる強度な心身ストレス」の解消



第11弾

(令和6年2月9日記者発表)

畜産飼料の地域内循環を目指して
株式会社アルファテック×株式会社アイオイ
実証実験開始

アジェンダ：産業
解決する課題：農産資源の地域畜産への活用
食の安全性確保

【参画企業】

株式会社アルファテック
株式会社アイオイ
山形大学アグリフードシステム
先端研究センター (TAAS)

【目的】

地域内の豊富な畜産向け農産資源の地元
畜産への利活用
海外依存度が高い畜産飼料の地産地消化
による価格の安定化と食の安全性の確保



第12弾

(令和6年2月13日記者発表)

持続可能なエネルギー循環社会を目指す
「ヤマトダマ」試験栽培開始

アジェンダ：産業
解決する課題：地域内のエネルギー確保
中山間地域の農地活用

【参画企業】

株式会社オウルティス
株式会社金山町須藤農園

【目的】

地域外へのエネルギー支出の削減
中山間地域の農地を活用したエネルギー
源確保



※ 詳細は、yori-I project のホームページをご覧ください <https://yori-i.org>

これまでの実績 05

第13弾

※ 山形大学 i-hope連携

(令和6年5月9日山形大学
定例記者発表)

「自然の環境・遊休施設活用
x 最新テクノロジー」
株式会社 メーカー 設立

アジェンダ：地域資源・健康
解決する課題：伝統・芸術文化・地域資源
の保全と活用

【参画企業】

株式会社メーカー[R6.4月設立]

【目的】

山形大学i-HOPE新事業創出イノベーションプログラムにおいて創出されてビジネスアイデアに基づき、Yamagata yori-i projectの支援を受け事業計画を具体化し新会社を設立。廃校施設を利用し、地域の人々の健康増進等の地域の未来を拓くための事業を展開する。



第14弾

(令和6年8月2日記者発表)

「美と健康を追求し、誰もが最高の姿を実現できる
社会を目指す」
BioServe株式会社 設立

アジェンダ：産業・健康
解決する課題：産業の強化と変革、
健康長寿の実現

【参画企業】

BioServe株式会社 [R6.8月設立]

【目的】

テマリーダーは自身が手掛けるサロンにおいて、顧客の美と健康に関わってきたが、新たな視点から更なる価値を提供したいと考え、食を通し「美と健康を追求し、誰もが自分自身の最高の姿を実現」することを目指すため、麴を用いたスイーツを提供する。



第15弾

(令和6年10月2日記者発表)

「yori-i project 遊佐町へ展開」
「ソーシャルビジネス支援体制」発足

アジェンダ：人
解決する課題：多様な地域人材の育成と、
町の未来を担う若者の輩出

【参画企業】

遊佐町
一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからず

【目的】

yori-i projectと遊佐町、町内の若手起業家ら有志で新設した一般社団法人 遊ばざるもの学ぶべからずが連携体制を構築。遊佐町内で若者のチャレンジが加速し、若者を中心としたビジネス創出を通じて地域をえる人材を生み出すことを目的とする。



※ 詳細は、yori-i project のホームページをご覧ください

<https://yori-i.org>

香りのバラ “**ダマスクローズ**” で新たなチャレンジ 未来のバラの街を目指した **ローズ・ロゼワイン**の開発

アジェンダ : 地域資源 / 人

解決する課題 : 地域資源の活用と保全 / 多様な地域人材の育成と創出

- 「全国に誇れる村山地域の食材を使っておいしいものを届けたい」というテーマリーダー：海藤氏の思いと、「村山のバラを産業として根付く地域資源にしたい」という佐藤氏の出会いによりロゼワインの開発に至った。
- **地域資源**を活用し長期的な保全に繋げていくためには、資源活用のための経済エコシステムを構築することが必要であり、ロゼワインの取り組みを皮切りに産業としての裾野を拡げていくことで、村山のバラを資源として活用し、保全していく動きを広げていく目的。
- 同時に、プレイヤー不足などの人材課題を含め、多様な地域人材と共に地域課題を解決していくことが不可欠。業態を超えた共創により資源活用の幅を広げることが求められ、このロゼワインのプロジェクトがその一つのモデルとなる
- 10月中旬にクラウドファンディングを公開し、プロジェクトの資金調達とロゼワインや本構想の賛同者集めを目指している
- 今後 yori-i project とも連携し、バラを核とした地域資源・経済エコシステムのさらなる構築を目指す

yor-i projectとの関わり

yor-i projectでは、担当コーディネーター/情報コーディネーターによる、事業計画の策定支援や、マイルストーン管理などの伴走支援、マーケティングメンバーなどとのマッチングを実施。また地域資源アジェンダの分科会において、マッチングの機会を作った。出席記者会見後も継続的に関わり、このプロジェクトへの賛同者を募っていく予定。



村山の地域資源
バラ(ダマスクローズ)



Yori-I アセット
 ・ ソーシャルイノベーション
創出ノウハウ
 ・ ボードメンバーとのつながり

ロゼワインの商品化を起爆剤とした地域資源活用のエコシステム

- ・各アジェンダ分科会でボードメンバーとのマッチング
- ・複数のプレーヤー(ボードメンバー)が参画
- ・他業種/他業態との共創による、地域資源(バラ)の活用の裾野を拡げていく
- ・yor-i のプロセスを転写することで、加速度的な新規事業立ち上げを

ダマスクローズの今後の展開

地域資源＝バラ(ダマスクローズ)を核とした地域エコシステム
(小規模事業者との“創発”による産業クラスター形成)



テーマリーダー



ずへや 代表 海藤 友也



山形県大石田町出身。蕎麦づくりをする父のもとで、飲食に関心を持つ。「お客様たちが楽しそうに食事をする風景が見たい」という思いから、2021年、村山市で「ずへや」を開業。地元の素材のおいしさを味わってもらえたらと、実家で自家栽培する野菜やお米を使ったメニューを提供。現在は東根市にあるワイナリーでも副業。全国に誇れる村山地域の食材を使って、おいしいものを届けたいと日頃から考え、バラ農家さんやワインの醸造家の方など、多くの人との出会いに恵まれて「バラのワインをつくりたい!」と思い至った。

ボードメンバー



山形薔薇蒸留所 代表 佐藤 洋介



岩手県出身。元・農林水産省職員で、村山市に3年間住んでいた際、山形の美しい薔薇が十分に活かされていないことに気づく。国内有数の規模を誇る「東沢バラ公園」には多くのバラがあるが、市内での生産はなく、お土産品も市外や県外のもの主流だった。「もったいない」と感じ、地元のバラを活かす方法を模索し、ダマスクローズの栽培・加工を行う「山形薔薇蒸留所」を開業。また、村山市プロジェクトマネージャーという市の職員としての顔ももち、Link MURAYAMAの管理・運営を行う。

